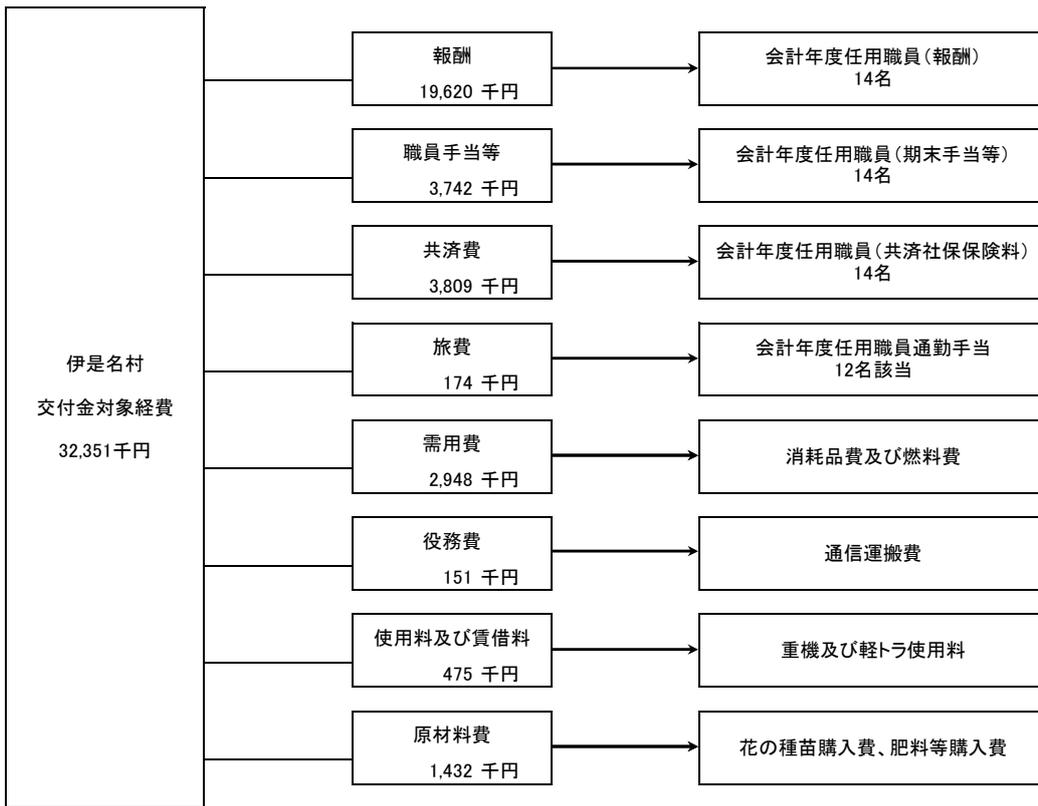


市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地等クリーンアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈り作業や花壇等の環境整備を行い、花木等の植栽など美化活動を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	45,000	54,092	51,220	55,518	55,000
	(b)予算現額	44,000	64,224	41,470	41,100	34,476	
	(c)増減額(b-a)	▲1,000	10,132	▲9,750	▲14,418	▲20,524	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	44,000	64,224	41,470	41,100	34,476	
	B.執行済額	43,362	62,929	39,329	39,791	32,351	
	うち交付金充当額	34,689	50,343	31,463	31,833	25,881	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.6%	98.0%	94.8%	96.8%	93.8%	
予算の状況の説明	当初の計画では、18人の作業員を想定していたが、最高14名に留まり、報酬・手当・共済費が減額となった。また悪天候時の作業中止により同科目において減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	観光ルート等の雑草の除去及び抑制、花木の植栽、肥培管理を実施し、景観の維持を図る。 花木の植栽及び肥培管理:16力所 緑化除草作業及び海浜清掃:16力所		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績 実施	実施	実施	実施	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	・観光施設等の草刈りについては、草刈り機等の機材を使用したA班が担当し、現場の状況や各種イベントの日程等を考慮して作業を実施した。また作業員等と連携を密にし、熱中症対策を講じながら作業を実施した。 ・観光ルート等の花壇の草取り、花木の植栽及び肥培管理、散水についてはB班が担当し、各ポイントを計画的に実施した。また地面から近い距離で作業しているため、熱中症予防を図りながら作業員等と相談しながら実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光地等の景観形成及び保全について、観光地としてふさわしい景観であると感じるか等を含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケートにより実施する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	99%	84%	92%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	本事業を客観的にみるため、入域者(観光客)に対し観光地の景観についてのアンケートを実施した。アンケート集計した結果、(問2)観光スポット・公園についてどのように感じたかについて、「きれい」が28.5%、「ややきれい」が23.6%、「普通」が39.8%合算して91.9%の方がきれいまたは普通したと回答しているため、目標である「景観の維持を図っている」を達成しているといえる。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 夏場の熱中症対策を図りながら実施しているが、年々温暖化が加速し、体感的にも想定外の暑さを感じている。作業員用の空調服の購入も検討する必要があると考える。 観光地及び観光ルート草刈り及び植栽作業については、計画していた作業の85%から90%は達成できたと感じている。残り10%~15%は特に梅雨時期の悪天候による作業中止、さらには予定していた作業員の確保が出来ず、作業効率が低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は一定の評価をしていただいたものの、さらなる環境美化に努め、季節の花々が咲き、観光客の増加に繋げたい。 梅雨時期や雨天時の作業中止に伴う、作業効率低下の改善を図るため、土日・祝日に作業実施し作業効率の維持に努める。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 県道及び村道の舗道に植栽している花が、どの季節に適應しているかなど、この数年の作業員の分析により把握できて来た。今後は適材適所の花を植栽し、通年通して訪れる人の目を楽しませたい。 作業員との連携を図り、効率的に作業場所の振り分けを行い、作業時間の短縮や就労者の就労意欲の向上を図り、観光地の景観形成・維持活動を持続的に実施する。 また作業員が安心安全で働けるよう、特に夏場の熱中症予防対策について検討したい。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
32,563	32,351	25,881	6,470	212



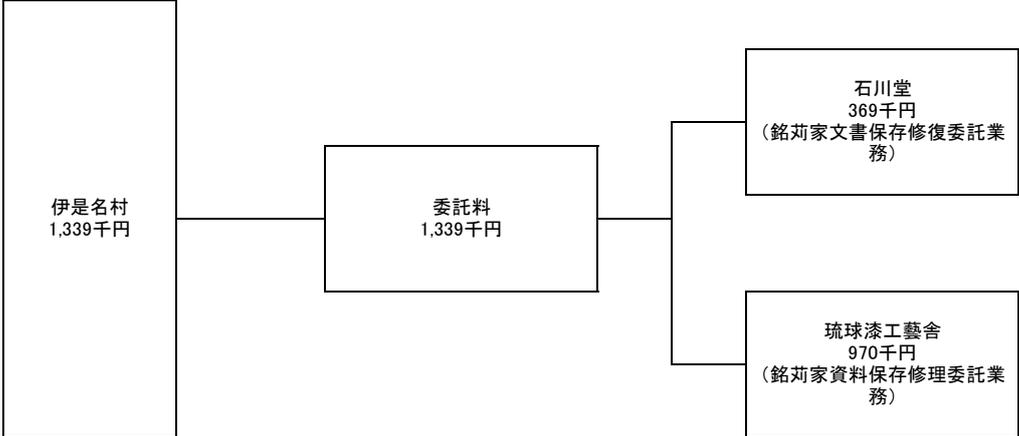
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は公募により雇用を行っており、適正に支出され妥当と認識している。 ○予算規模について当初計画から26%減となっているが、会計年度任用職員が当初の計画どおり雇用できなかったことが原因(募集年齢を70歳未満に限定) ○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限のものであり、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し、真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	尚円王の血族である「銘苅家」「名嘉家」に伝わった旧蔵品について、漆工品、古文書等の分野毎に調査を行い、それぞれの資料にあった方法で修復を行う。これにより、原物資料をより適切な状態で展示・保管することができ、後世へ継承すると同時に観光客の満足度の向上へと繋が						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	11,977	16,064	18,800	18,000	1,339
	(b) 予算現額	12,005	12,172	17,574	18,000	1,339	
	(c) 増減額(b-a)	28	▲ 3,892	▲ 1,226	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	12,005	12,172	17,574	18,000	1,339	
	B. 執行済額	11,977	12,172	17,574	17,992	1,339	
	うち交付金充当額	9,581	9,737	14,059	14,393	1,071	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		令和4年度予算については、事業計画通り執行が完了している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	旧蔵品修復の完了	目標	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	
		実績	完了	完了	完了	完了	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	本年度修復対象とした古文書及び漆工品について修復を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	旧蔵品を利用した祭事への来場者数:250人	目標	()	(250)	(250)	(250)	()
		実績		56	72	81	
	アンケート調査 満足度80%以上	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			75%	71%	
進捗状況説明	旧蔵品の模造復元資料を用いた祭祀行事である公事清明祭への来場者数を計測し、目標値250人と設定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、一般観覧者の入場を規制し、一部関係者のみで開催したため、来場者は81人に留まる結果となった。また、アンケート調査については修復した旧蔵品を展示する本村ふれあい民俗館の入館者を対象に、任意で協力頂いた結果、満足した及びやや満足したと回答した割合が71%となり、目標とした80%には到らなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・旧蔵品の修復については、熟練した技術を要する職人による手作業となることから、作業時間が膨大となるため、計画的且つ継続した事業の実施に取り組む必要がある。	・旧蔵品の修復については、資料の状態を考慮し優先度の高いものから計画的に事業を実施する。また修復期間を可能な限り多く確保する為、年度開始後、早急に事業者の選定を行う。
	・修復した旧蔵品については、文化財として保存を図るとともに、教育現場等の教材として活用することにより、島内の子ども達が生まれた島に誇りをもっていけるような機会の醸成に努め、併せて尚円王ブランドとして本村のPRへ繋げるための方策を積極的に展開していく必要がある。	・保存修理の完了した旧蔵品をはじめとした文化財について積極的な活用・情報発信を図っていくとともに、利活用状況等を適切に把握することで、PR方法や活用方法の見直し等について適宜行えるようになるものと考えられる。
	・昨今の新型コロナウイルス感染症に基因する社会情勢により、当該事業の成果品を活用したイベント等の実施が困難な状況にある。	・本年度については、村外より不特定多数の人々を迎えるイベント等の実施が見送られ、次年度以降は情報発信による誘客を図る。
今後の取り組み方針		
<p>・修復対象品目の選定にあたっては、事前に必要性、緊急性等を勘案し、翌年度以降にどの品目を修理・復元の対象とするかを事前に検討しておくとともに、劣化具合等を継続的に把握することで、必要に応じて優先度の再検討を行い、事業を実施していく。</p> <p>・修復が完了した資料については、観光資源として展示・公開に供すると共に、地域における文化財への意識高揚を図る取り組みへ活用する。また、本年度アンケート調査において、ふれあい民俗館での展示について解説文が少ないなどの改善点を指摘する意見が多数あり、今後はより理解度や満足度を向上できるように、展示内容や方法について改善に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,339	1,339	1,071	268	0



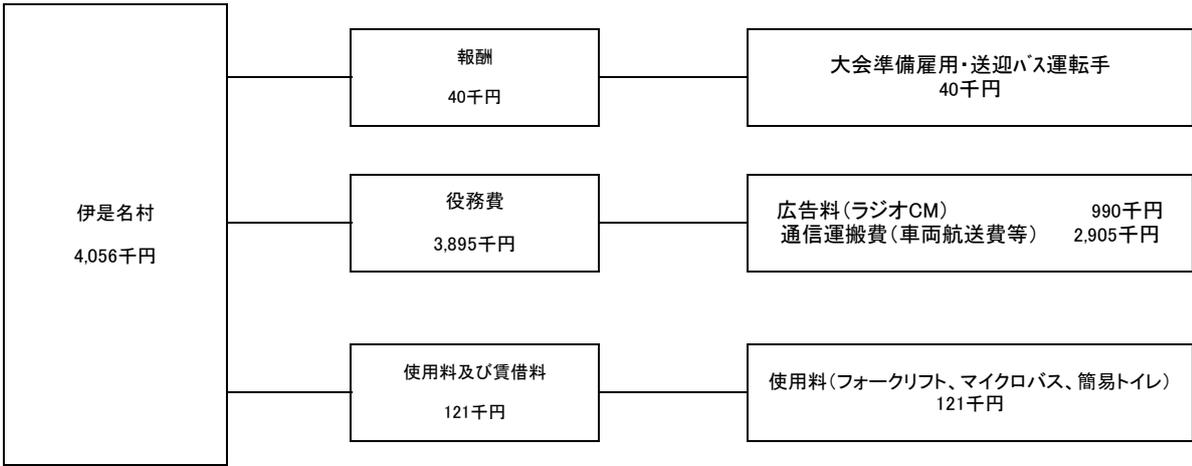
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・当該業務については、業務の技術的特性から一社随契により選定した。</p> <p>・予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。</p> <p>・実績により成果物、書類等を精査し、委託料を確定しており妥当と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	伊是名モータースポーツ支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	平成26~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	14,372	13,663	5,001	0	5,162
		(b)予算現額	6,963	6,531	1,193	0	5,162
		(c)増減額(b-a)	▲7,409	▲7,132	▲3,808	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	6,963	6,531	1,193	0	5,162
		B.執行済額	6,963	4,547	1,188	0	4,056
		うち交付金充当額	5,570	3,637	944	0	3,245
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	69.6%	99.6%	#DIV/0!	78.6%
予算の状況の説明		当初予定していた大会数を開催することができたが、2月に実施した大会について、天候などで交通機関に影響したことにより、観戦者数が減ったことで、執行率も若干の不用が発生したことで、約8割程度となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ドラッグレース大会の開催	目標	(2)	(1)	()	(2大会)	
		実績	2	1		2大会	
	ジムカーナ大会の開催	目標	(2)	(0)	()	(1大会)	
		実績	2	0		1大会	
		目標	(0)	()	()	()	
	実績	0					
達成状況説明	・ドラッグレース大会及びジムカーナ大会の開催につきましては、当初予定していた開催数を達成することができた。 コロナウイルス感染症が蔓延し過去2年間には中止が相次いでいたが、今回は無事開催することができ、久しい開催であったため、来場者についても、例年に比べ多い印象であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	モータースポーツ大会来場者	目標	()	(139人)	()	(453人)	()
		実績		143人		920人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	今回は来場者数が目標値である453人以上を達成することができた。 今後については、広報活動など広く周知し、大会の知名度の向上など継続した取組が必要である。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 多くの観客数を受け入れるため、交通機関である村営フェリーの運航の変更など引き続き行っていく必要がある。 競技者と観客者の人数にばらつきがあり、大会開催時期を大会運営側と調整し、精査していく必要がある。 大会期間中や開催後に発生したごみの処理について大会運営側と調整する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技者と観客者の人数については、大会事務局と調整し、大会開催時期を観戦者が多い時期に開催するなど時期の検討を行う。 飲食ごみ等の大会開催に伴い、発生したごみについては、競技者及び参加者の飲食ごみの処分を運営側と検討を行う。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 各団体(ジムカーナ、ドラッグ)との大会の開催数や開催時期の検討をする。 大会開催時に発生したごみの処分について運営側と検討する。 大会を周知するために、SNS等の広告媒体を活用し、モータースポーツの楽しさ、魅力を発信していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,056	4,056	3,245	811	0



資金の流 れの 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、事業内容に見合った適切な規模であったと考える。 ○費目・用途目的について、支出調書・書類により確認を行い適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-イ	
担当部署名	企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24～令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	(b) 予算現額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	B. 執行済額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	うち交付金充当額	800	800	800	800	800	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初計画通り適切に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	景観形成への支援 団体支援→5団体		目標 (団体支援5団体)	(団体支援5団体)	(団体支援5団体)	(団体支援5団体)	
			実績 団体支援5団体	団体支援5団体	団体支援5団体	団体支援5団体	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<p>村内5団体が実施する景観形成活動に対して助成を行い、各団体において様々な活動を行った。令和4年度は、集落内の雑木の剪定、植樹、集落入口周辺や地域コミュニティの拠点となる公民館及び地区公園周辺の除草作業を実施した。作業を実施するにあたり、多くの住民が精力的に取り組んだことで、集落内の景観を保全しつつ良好な集落景観を形成する事が出来た。本事業を通して、住民の景観意識の高揚及び観光地としての魅力度向上に繋がっているため、概ね活動目標を達成する事が出来たと考えている。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	89%	75%	56%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	<p>新型コロナウイルスの影響によりR2以降、コロナ渦以前の入域観光客数が平年を下回っているが、観光最盛期を軸に周年通してアンケート調査を実施した。 本村の景観に関する満足度について、アンケートに回答した123人の調査票を集計した結果、おおむね満足に該当する回答者が69人であった。満足度は56%、前年度実績比0.74%であり、昨年度よりも満足度が低下した結果となったが、回答者の半数以上がおおむね満足している状況である。</p>						

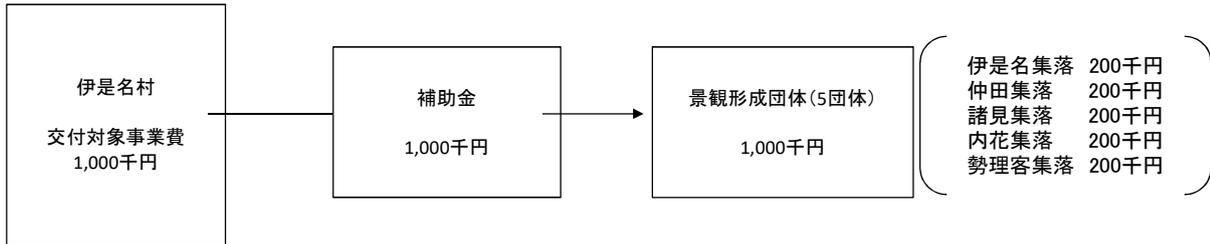
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度80%という目標を達成する事が出来なかった要因として、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響による観光客等の往来者の減少が挙げられる。しかし、各集落において精力的に景観形成活動を実施したことで、地域住民の景観に対する意識高揚や良好な集落景観を維持・形成できた。 ・集落景観について、アンケート調査で、花の苗を各家庭へ配布する事や花の更なる増加、花植後の草取りや散水などの管理を徹底するようご意見があった。 ・アフターコロナを見据え観光客数が増加に転じる事を想定し、今後も良好な景観形成が図られるよう、官民一体となって取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体において作業内容や参加人数にバラつきがあるものの、団体の代表者が中心となって地域全体で景観形成活動を実施すると言う点では、足並みを揃える事が出来ているので、今年度以降も引き続き各団体と連携しながら、景観形成活動を推進していく。 ・集落景観の満足度についておおむね良好という回答が56%であり、過半数以上が満足した結果となったが、昨年度同様に目標値を下回ったため、アンケートでご意見のあった花植えやその後の管理など、各団体と連携した取り組みを推進し、満足度向上を図っていく。 ・アフターコロナ後は、現在実施している内容を継続しながら、新たにどのような活動を実施するとより効果的か各団体と連携し、引き続き良好な景観形成を図り、観光地としての魅力度向上を図っていく。

今後の取り組み方針

満足度調査の結果等を踏まえ、良好な景観形成及び観光地としての魅力度向上を図るため、今後も各団体と連携しながら景観形成活動を推進していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,000	1,000	800	200	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に基づき決定しており、妥当である。 ○当初計画通り執行されており、妥当である。 ○実績報告に基づき書類等検査し、経費については対象経費に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	伊是名海岸環境整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-イ	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和3~令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	「伊是名海岸」(通称:伊是名ビーチ)の周辺環境を整備することで、村民や観光客等に対し、快適な施設を提供するだけでなく、緑あふれる癒しの景観づくりを推進することで、観光振興及び活力に満ちた地域振興に繋げるため本年度実施設計業務を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(8年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		(b)予算現額	4,664	13,827			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	4,664	13,827	0	0	0
	B.執行済額		4,620	13,827			
	うち交付金充当額		3,696	11,061			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		99.1%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明		当初、隣接土地(村有地)の駐車場整備計画をしていなかったが、利用者の利便性向上の観点から駐車場計画を追加するため、9月補正で1,617千円を増額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	伊是名海岸環境整備事業における実施設計業務の完了		目標 ()	()	(基本計画策定)	(実施設計)	
			実績		完了	完了	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	実施設計業務を年度内発注・完了できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
			目標 ()	()	(基本計画策定)	(実施設計)	()
	伊是名海岸環境整備事業における実施設計業務の完了		実績		完了	完了	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	実施設計業務を年度内発注・完了できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・基本設計を基に、利用者が満足する施設となるよう配慮する。</p>	<p>・環境に配慮した緑あふれる癒し場となるような景観形成を行い、観光客誘客を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本施設は、村民や観光客等に多く利用される人気スポットであるためほか、いげな88トライアスロン大会のスイム会場でもある。日常的な利用に対する利便性向上やイベント時においても利用しやすい施設となるよう取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,827	13,827	11,061	2,766	0



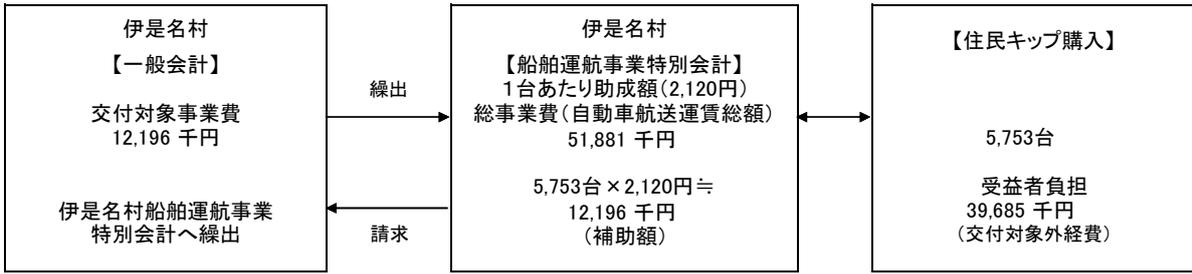
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は、指名競争入札で選定しており、妥当だと考える。</p> <p>○不用額は0%であり、適正な規模であった。</p> <p>○費目・使途は、委託業務のみであり目的に即し、必要なものであった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化	
事業内容	離島の不利性を解消し定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港と本村を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	13,063	13,117	13,026	12,549	12,175
	(b)予算現額	13,063	13,115	10,636	11,094	12,197	
	(c)増減額(b-a)	0	▲2	▲2,390	▲1,455	22	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	13,063	13,115	10,636	11,094	12,197	
	B.執行済額	12,902	13,115	10,375	10,257	12,196	
	うち交付金充当額	10,321	10,492	8,300	8,205	9,757	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	100.0%	97.5%	92.5%	100.0%	
予算の状況の説明	コロナ禍が落ち着きつつあり当初予算額を昨年度よりも増額したが、村内でも新型コロナウイルスの感染者が発生し、更なる感染拡大を防止するために村民が自主的に行動制限を行い、見込みよりも利用者が減数したため当初の予算額を下回る実績となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	自動車航送コスト支援の実施		目標 (負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	
			実績 負担軽減	負担軽減	負担軽減	負担軽減	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	本村民の沖縄本島との唯一の交通手段である船舶において、車輛航送運賃の助成を行ったことで、本島との往来を行う際に感じていた不利性が緩和され、金銭的アクセシビリティが向上した。教育・医療・福祉の充実と定住条件は密接に関わり、村民の負担軽減に寄与した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図れたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	90%	93.2%	89.3%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	本事業を客観的にみるため、自動車航送コスト事業利用者(村民)に対し本事業の満足度についてアンケートを実施した。アンケート集計した結果、問3.沖縄本島へ移動しやすい環境になりましたか?の問いでは「大変そう思う」55.3%、「やや思う」34.0%合算して89.3%と回答し「沖縄本島へ移動しやすい環境の構築」の目標達成しているといえる。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリー利用者はコロナ禍と比較すると若干回復傾向にあるが、利用者が増えるのと比例し感染確率も高くなるため、船内が感染経路にならないか不安もある。 ・負担軽減事業を活用しているが、軽減された運賃でも月に何度も利用する必要がある住民にとっては金銭的負担は大きい。特に昨今の物価高騰により年金生活者にはかなり痛い出費となっており、更なる負担額の増額を希望する声もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症等の感染予防策を講じ、船内が密室にならないよう船員による巡回、十分な換気、アルコール消毒を行う等村民が安心して本島との往来できるよう努める。 ・燃料費の高騰が続いているが、住民の負担が今以上に増えないよう運賃据え置きで運航できるよう努める。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・負担軽減された運賃が当たり前の感覚になっている住民もいるため、本来の金額から負担軽減後の金額等を提示するなどして事業内容を周知し、理解してもらうことで満足度に繋げる。 ・運賃以外でも利用者(住民)が求めている声に耳を傾けるよう努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
51,881	12,196	9,757	2,439	39,685



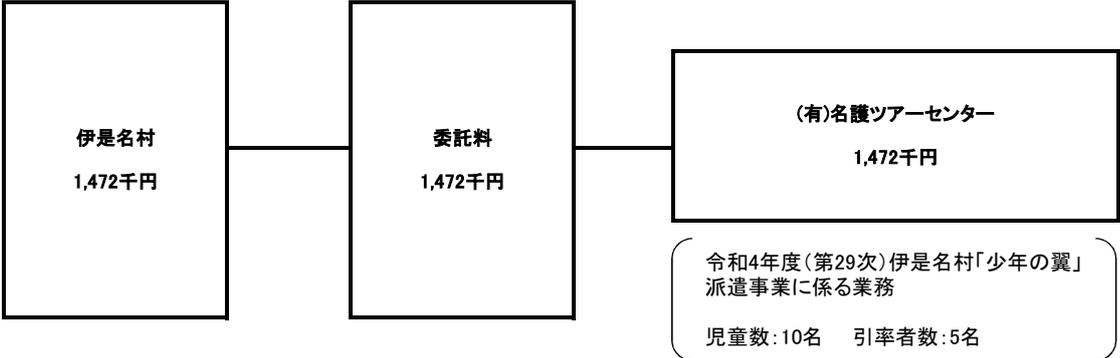
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○船舶運航事業特別会計において、自動車航送券の発券及び集計を取り扱っていることから支払先は妥当と考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○住民が航送券を購入した実績を踏まえて事業を実施しており適正な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○7割強を受益者が負担していることから、負担関係は妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	人材育成事業(日高小との交流事業)			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	異なる生活圏で暮らす子ども達が互いの地域を訪れ、歴史や文化について学ぶ事で広い視野と協調の精神を養うことを目的として、伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小との交流学習・体験学習を実施した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	2,100	1,540	—	—	1,575
	(b) 予算現額	1,923	1,506	—	—	1,575	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 177	▲ 34	—	—	0	
	(d) 繰越額	0	0	—	—	0	
	A. 計(b+d)	1,923	1,506	—	—	1,575	
	B. 執行済額	1,923	1,506	—	—	1,472	
	うち交付金充当額	1,538	1,204	—	—	1,177	
	次年度繰越額	0	0	—	—	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	—	—	93.5%	
予算の状況の説明	予定通り執行した。不要額103千円については、入札の結果生じた差額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	日高小学校との交流・体験学習の実施 児童10人 引率5人	目標	(児童10人 引率6人)	(—)	(—)	(児童10人 引率5人)	
		実績	児童10人 引率6人	—	—	児童10人 引率5人	
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画とおり、児童10人、引率5人の派遣を実施した。 ・日高小児童との合同スキー体験や日高小全児童との交流会を実施し、北海道の暮らしや自然を体験する事ができた。 ・北海道での交流体験について報告会を開催した。伊是名小児童や地域住民への報告とあわせて感想文、派遣写真の展示等も行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成	目標	()	(—)	(—)	(作成)	()
		実績		—	—	作成	
	保護者へのアンケートで、県外での交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	目標	()	(—)	(—)	(80%)	()
		実績		—	—	90%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道への派遣および、交流・体験学習を実施し、事業の概要、事業の実施状況や交流会の様子がわかる報告書を作成し、村関係者や保護者にむけた交流・体験学習の報告会を行った。報告会は児童が行い、交流・体験学習をとおしての出来事、体験や反省等をグループ毎に発表した。 ・派遣終了後、保護者へアンケートを実施した。「人材育成事業(日高小との交流)により、児童の視野が広がったと感じたか」という質問に対し、大きく広がった、広がったと9割の保護者が回答したことから、目標は達成されたと考える。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・1月2月は急な海上時化が多く、出発前まで村フェリーが欠航する恐れがあったが、無事当日出港することができた。次年度より前乗り等も考慮した工程を計画する必要がある。 ・事業を効果的に行う上で、両校の連携体制が重要になる。北海道での日程及び交流内容等を双方で綿密に練り上げ事業に臨む事が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリーの欠航等による前乗りについては、村と学校で協議を行い、前乗り分の予算の確保する。 ・両校と連携を図り、定期的な会議を開催し、事業の進捗状況及び内容等について確認する。
	今後の取り組み方針	
<p>・事業は日高小は11月頃、伊是名小は2月頃に互いの学校訪問を行い、それぞれの地域の自然や文化を交流体験をととして学ぶ。WEBミーティングなどを活用して児童同士が事前に交流を図り、事業への意欲高揚を図る。また、児童へ事業の目的・狙いを理解してもらうために、社会見学地の選定に児童にも参加してもらい満足度の向上、自主性の醸成を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,472	1,472	1,177	295	0



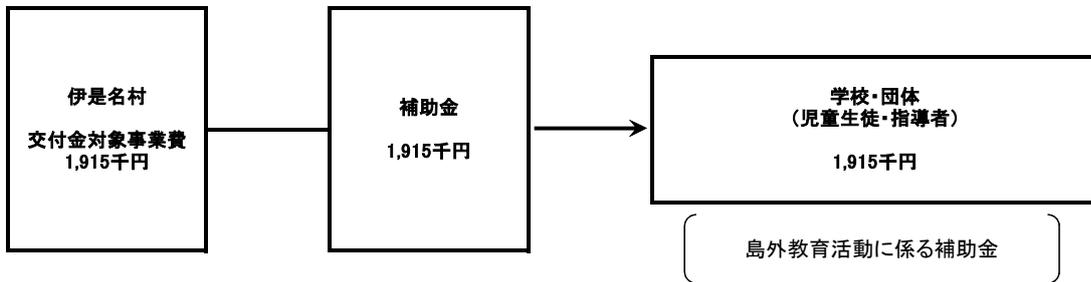
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は例規に則った選定となっており妥当と考える。 ○予算規模については、事業内容を勘案して適切なものであったと考える。 ○予め受益者負担として保護者負担経費を設けていることから応分の負担がなされており、受益者との負担関係については妥当である。 ○費目、使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童生徒島外諸教育活動支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	平等な教育機会の確保と学習環境の充実	
事業内容	島外の児童との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、島外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会に参加する児童生徒に対し、渡航費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	2,040	2,180	2,150	2,150	2,150
	(b) 予算現額	2,040	2,180	800	1,150	2,150	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,350	▲ 1,000	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	2,040	2,180	800	1,150	2,150	
	B. 執行済額	1,964	1,785	639	1,043	1,915	
	うち交付金充当額	1,571	1,421	622	825	1,532	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	96.3%	81.9%	79.9%	90.7%	89.1%	
予算の状況の説明	本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い5月～6月に開催される予定だった各大会等が中止又は延期となったが、7月以降からは計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:7団体	目標	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	
		実績	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	児童生徒が島外諸教育活動に参加するため、離島という地理的条件のために生じる経費(船賃、宿泊費の一部)各団体に支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		92.0%	93.0%	94.0%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	児童生徒を島外派遣することで競技力向上や島外児童生徒と交流することによるコミュニケーション能力の向上にも繋がると考える。また、保護者アンケートを実施した結果、保護者の方が94%の割合で「島内ではできない経験をする事ができた」と回答しており昨年度に比べ1%上回り目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・保護者からの意見として宿泊費用について上限2,500円としているが実費精算での支援はできないかとの要望がある。</p>	<p>・宿泊費等の支援については、補助の考え方及び他市町村の派遣事業を参考に慎重に進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・R4年度の成果目標について、保護者アンケート調査及び指導者との聞き取り調査等も実施した上で本事業のあり方について検証していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,932	1,915	1,532	383	17



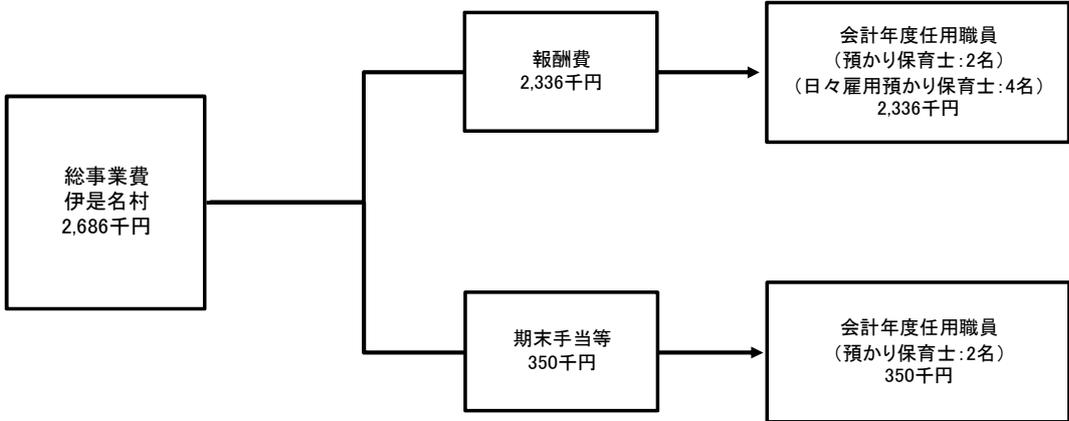
資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象者については交付要綱等に従って決定しており、支出先の選定方法は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、派遣人数等に応じたものであり、適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○渡航費及び宿泊費(上限有り)が主な補助対象経費となっておりその他は個人の負担となっていることから、受益者との負担関係は妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	伊是名村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	幼稚園預かり保育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども子育て支援の充実		
事業内容	預かり保育を実施し、保護者における育児負担軽減を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,606	2,869	3,200	3,237	2,808
		(b) 予算現額	2,606	1,469	2,482	2,279	2,808
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,400	▲ 718	▲ 958	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	2,606	1,469	2,482	2,279	2,808	
	B. 執行済額	2,377	1,353	2,258	2,027	2,686	
	うち交付金充当額	1,901	1,060	1,807	1,562	2,149	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	91.2%	92.1%	91.0%	88.9%	95.7%	
予算の状況の説明	当初の預かり保育士勤務日数及び職員手当の金額に差異が生じることが予想されたため、564千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	預かり保育士の雇用:4名	目標	(1名)	(2名)	(2名)	(4名)	
		実績	1名	2名	2名	2名	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	雇用実績人数は2名であり、目標雇用人数4名には及ばなかったが、代替保育士(日々雇用者)を4名雇用し、常時2名態勢で預かり保育を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	保護者への事後アンケートを行い、預かり保育の実施により育児負担軽減を感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		95%	91%	100%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	「預かり保育を行う事で育児負担軽減につながったか」の事後アンケート調査へ保護者が育児負担軽減を感じたと回答した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>預かり保育士の欠勤等による預かり保育運営の支障を防ぐため、代替保育士(日々雇用者)を雇い、預かり保育を実施した。</p>	<p>・本年度、預かり保育利用者の事後アンケートにおいて効果の実感度合い等を確認することができた。引き続き保護者からの意見を参考にしながら本事業の効果の把握に繋げていきたい。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本事業について、保護者の育児の負担感が軽減されたか保護者にアンケート調査を実施し、事業効果を確認することができた。今後も保護者の意見や要望を参考に、利用しやすい環境づくりと受け入れ体制強化を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,686	2,686	2,149	537	0



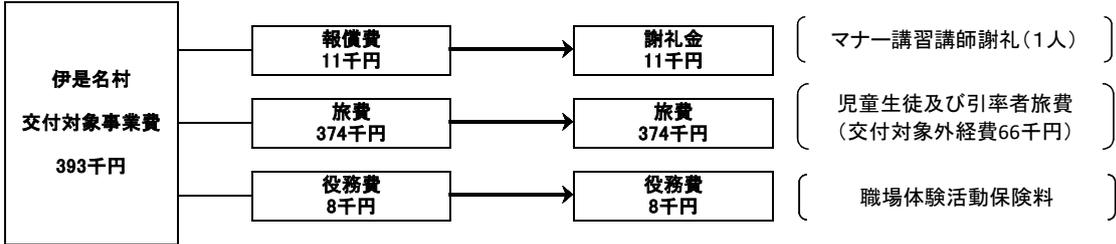
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は本村であり、妥当であったと考えている。 ○不要額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費用、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	グッジョブ連携推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒に自己理解・自己実現に向けた意欲の向上、また、目的意識の高揚や就業意識の向上を図るため、小学校ではジョブシャドウイング、中学校では職場体験等のキャリア教育を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(b)予算現額	660	831	0	0	393
		(c)増減額(b-a)	660	735	0	0	393
		(d)繰越額	0	△96	0	0	0
		A.計(b+d)	0	0	0	0	0
	B.執行済額		660	735	0	0	393
	うち交付金充当額		350	664	0	0	392
	次年度繰越額		279	439	0	0	314
	執行率(%) (B/A)		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		53.0%	90.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.7%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い、小学校5年生を対象としたジョブシャドウイングは中止となったため減額となったが、中学生を対象とした職場体験については予定どおり実施することができ、全体としては概ね計画どおりに執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	小学校:ジョブシャドウイングの実施(中止) 小学校5年生:20人		目標 (小学生10人)	()	()	(小学生20人)	
			実績	小学生10人		中止	
	中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:11人		目標 (中学生12人)	()	()	(中学生11人)	
		実績	中学生12人		中学生11人		
達成状況説明	本事業において、小学5年生対象のジョブシャドウイングは新型コロナウイルス感染症対策に伴い中止となったが、中学2年生対象の職場体験については、9月6日~9日の4日間に生徒の希望する職場での体験がそれぞれ実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標 ()	()	()	(80%)	()
			実績			81%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	児童生徒へアンケート調査を実施した「働くことについて興味・関心が湧いたか」を結果、81%の児童生徒が興味・関心が湧いていたと回答しているため概ね目標は達成できた考える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・キャリア教育を行っていくにあたり、コミュニケーション能力(明るい挨拶・丁寧な対応・敬語での会話)などの大切さを実感している生徒が多かったため、今後は普段の学校生活なかでも取り組んでいく必要がある。	・職場体験実施前にマナー講座などを徹底して行うことでコミュニケーション能力の向上を図る。
今後の取り組み方針		
・職場体験先だけではなく、常日頃からあいさつや礼儀作法などを習慣付けるよう学校・家庭・地域・行政で連携して取り組む必要がある。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
459	393	314	79	66



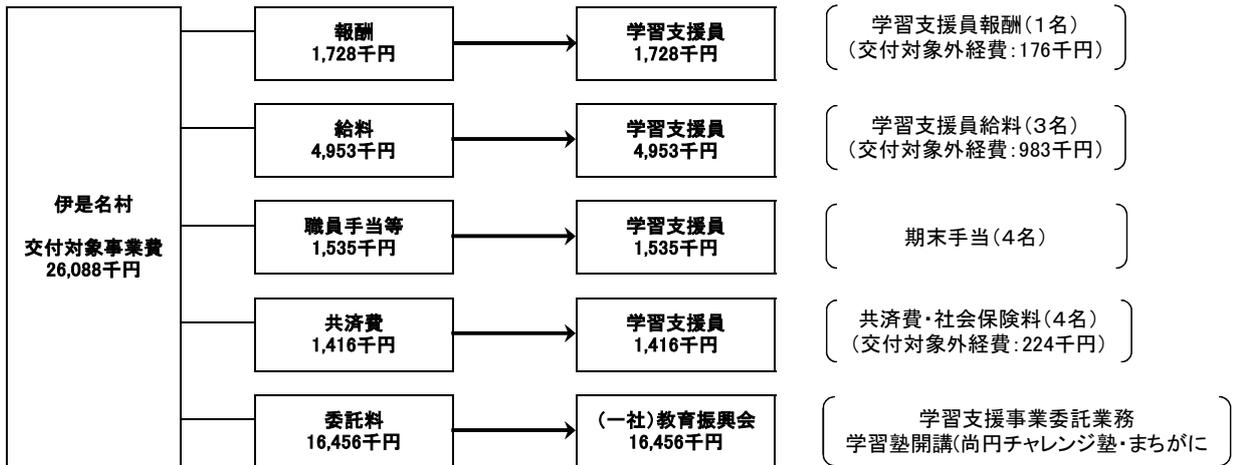
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。 ○予算規模について児童生徒の対象人数を踏まえたものであり適正であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤	学習支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実			
事業内容	児童生徒の学力向上及び学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a)当初予算額	26,380	26,792	28,327	32,870	30,393	
	(b)予算現額	22,630	26,792	26,106	25,208	30,393		
	(c)増減額(b-a)	▲3,750	0	▲2,221	▲7,662	0		
	(d)繰越額	0	0	0	0	0		
	A.計(b+d)	22,630	26,792	26,106	25,208	30,393		
	B.執行済額	21,063	26,562	22,322	23,979	26,088		
	うち交付金充当額	16,850	20,626	20,494	18,445	20,870		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	93.1%	99.1%	85.5%	95.1%	85.8%		
予算の状況の説明	4月から村営塾の開塾を予定していたが、業務内容確認等に時間を要したため2か月遅れて6月からの開塾となったため、当初予算を下回ることとなったが、塾の運営に関しては計画どおり執行することができた。							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	学習支援員の確保:4人	目標	(3人)	(3人)	(4人)	(4人)		
		実績	3人	3人	4人	4人		
週3日程度の学習塾を開講	目標	(週4日)	(週4日)	(週4日)	(週3日)			
	実績	週4日	週3日	週3日	週3日			
達成状況説明	今年度は、学習支援員については目標である4人配置することができ、教育活動支援及び学習に遅れのある児童を中心に支援を行った。学習塾については、民間事業者へ公募型プロポーザルを実施し業者選定を行い週3日開講することができ、今年度より新たな取り組みとして、学校側と連携して各検定試験に向けての対策及び学力テスト等を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	平成28年度~令和2年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -13.3ポイント以上 中学校 -1.2ポイント以上		目標	()	(-11.4ポイント以上)	(-11.4ポイント以上)	(-13.3ポイント以上)	()
			実績		-16.7ポイント	-4.1ポイント	-2.1ポイント	
	平成28年度~令和2年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -13.3ポイント以上 中学校 -1.2ポイント以上		目標	()	(-0.2ポイント以上)	(-1.1ポイント以上)	(-1.2ポイント以上)	()
実績				-19.2ポイント	-14.0ポイント	-8.4ポイント		
進捗状況説明	①小学校については、-2.1ポイントで目標達成、②中学校についても-8.4ポイントで目標未達成。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 塾を開校後、学力テスト等を実施し児童生徒の個別の学力を踏まえて塾と学校で情報共有して生徒個々にあった学習メニューで取り組む必要がある。 学習支援員については、4人の支援員を配置し学習支援活動に取り組むことができたが、苦手な教科でのつまづき等を担任と支援員で連携して把握し学習支援に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様に学年によっては学力のバラつきがあり、このバラつきを小さくするためには継続した学習支援が有効と考えるが、学校・保護者・行政・委託業者の4者で連携し情報共有した上で児童生徒の個別学力を徹底的に分析し、苦手な教科を中心に個別指導をして取り組むことが必要と考える。
	今後の取り組み方針	
<p>・令和4年度は、村営塾を開塾することで民間の高い指導力と充実した内容で実施することができ高校入試合格率100%達成することができたが、更に今後は夏休み期間及び冬休み期間を利用し、受験生を対象に受験合宿を年2回実施し他校の生徒と受験合宿を行うことで競争意識の向上にも繋がるものとする。</p> <p>また、引き続き学校・塾・家庭・教育委員会の4者で連携し生徒個々の学習能力を把握した上で生徒にあったメニューの学習内容で取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
27,611	26,088	20,870	5,218	1,523



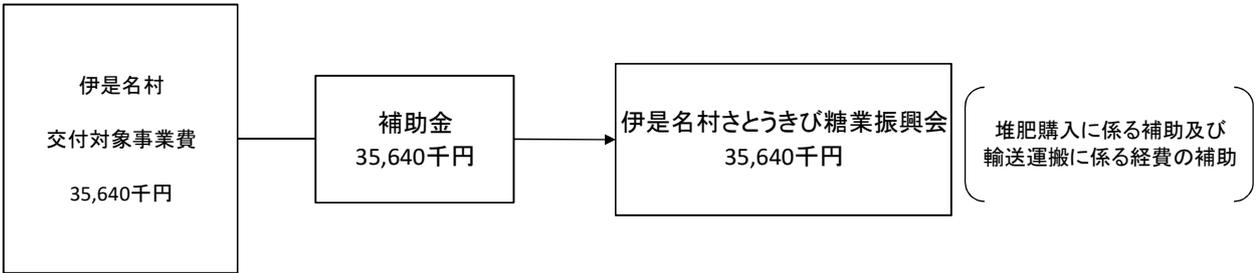
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	伊是名村土づくり支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化		
事業内容	安定的な有機堆肥の供給による土づくりの促進及び、農作物の生産性の向上を図るため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,552	34,128	36,940	37,070	35,640
		(b) 予算現額	34,308	34,433	35,640	35,880	35,640
		(c) 増減額(b-a)	▲ 8,244	305	▲ 1,300	▲ 1,190	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		34,308	34,433	35,640	35,880	35,640
	B. 執行済額		34,308	34,433	35,640	35,860	35,640
	うち交付金充当額		27,446	27,546	28,512	28,688	28,512
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
予算の状況の説明		当初予算と見積金額との運送費分に差額が生じたため、1,960千円の減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	堆肥導入数量:2,000t	目標	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	
		実績	2,000t	2,000t	2,000t	2,000t	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	配布期間にあわせ、12月末までに導入を終えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	さとうきびの反収:6,600kg	目標	()	(5,600kg)	(5,500kg)	(6,600kg)	()
		実績		5,582kg	6,069kg	5,627kg	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	目標の反収が6,600kgに対し今年度は5,627kgと973kg減となっているが、過去5カ年平均5,412kgに対し、215kg増となっている。反収が減った要因としては生育期間における降水量が多かったことや、日照時間が例年より短いことが主な要因と考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	さとうきびの春植え、夏植え準備の時期に散布ができるように、堆肥を確保する必要がある。 本年度は梅雨の期間が長ったこともありことから、配布時期を考慮し流亡対策を図る必要がある。	関係機関と情報提供し配布時期の対策を行い収量増加を図る。並びに、ほ場への適量配布を引き続き行う。
今後の取り組み方針		
関係機関で情報を共有し、災害に強い作物の生産及び、生産量の増加・維持を図るために、有機堆肥の連年散布の推進、散布後の適期肥培管理の周知を行う。また、適量散布を推進し、散布面積の拡大を図っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,640	35,640	28,512	7,128	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○要綱に適合する事業者への支出となっていることから妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要量と供給量の比較により妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○堆肥の散布費用を受益者が負担しているため、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については支出等に関する書類により確認し適正であると考えられる。